

高知県環境活動支援センターえこらぼ

平成 30 年度の取り組み

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

高知県環境活動支援センターえこらぼについて

高知県環境活動支援センターは、県民一人ひとりの環境への関心を高めて環境にやさしいライフスタイルの輪を広げ、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の構築を目指すために平成18年4月に設置されました。以来、県民の環境活動や環境学習の推進拠点として、環境情報の発信や環境学習講師の派遣、環境イベントの開催、生物多様性の保全の普及活動などの事業を行っています。

も く じ

1	環境活動に関する情報発信	1
1)	ホームページによる環境活動情報の提供	2
2)	ホームページ以外の情報提供	2
2	地域や教育現場における環境学習の支援	3
1)	環境学習講師の紹介・派遣	3
2)	第6回 高知「環境絵日記」	4
3)	こどもエコクラブ事業	10
3	生物多様性地域戦略推進事業	12
1)	生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催	12
2)	リーダー活動現場体験ツアーの実施	13
4	環境イベントの開催	15
1)	「環境活動見本市 in 黒潮町 一幡多のエコ大集合」の開催	15
5	生物多様性の意義の普及・啓発	16
1)	普及啓発キット（パネル・資料等）の作成・貸出し	16
2)	イベント開催・出展の機会を捉えた普及啓発活動	17
6	体験型環境学習・研修イベント	18
1)	環境×仕事の現場を見に行くバックヤードツアーの実施	18
7	環境活動団体の支援	19
1)	団体交流会の開催	19
2)	助成金情報の提供	20
8	その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務	21
1)	環境学習プログラムリストの作成	21
2)	「地球温暖化と公共交通」をテーマにした出前授業の実施	23
3)	「こうちエコ川柳大賞」の実施	24
4)	環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布	25
9	PR活動	26
1)	PRツールの作成	26
2)	報道機関への情報提供	26
10	センターの運営	27
1)	センターの開館日及び開館時間	27
2)	運営委員会の組織・運営	27
3)	高知県との定期連絡会の開催	27

1 環境活動に関する情報発信

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

管理運営団体：特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home about mail

えこらぼについて

イベント情報

お知らせ・募集情報

学校や地域での環境学習をサポート
講師紹介・派遣

体験プログラムや学習会に参加しよう
高知県の環境学習施設一覧

活動を知ろう・広かまを繋ごう
環境活動団体紹介

生物多様性を守る取り組み

高知「環境絵日記」

こどもエコクラブ高知県事務局

メールマガジン
「えこらぼだより」

助成金情報

リンク集

お問い合わせ

サイトマップ

平成30年度
高知「環境絵日記」
選考結果発表

トピックス

◆えこらぼの所在地・ご利用時間◆
高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター「ソーレ」3F
(NPO法人 環境の杜こうち)
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205
E-mail：center@ecolabo-kochi.jp
◇ご利用時間◇
月曜日 9:00～17:00 火～金曜日 9:00～18:00
土曜日 13:00～17:00 ※日曜日、祝日、第2水曜日休み
環境活動や環境学習に関するご相談など、お気軽にご利用ください。

イベント新着 お知らせ新着 助成金新着 ←見たい情報タグをクリックください

2019/03/26 【イベント情報】
四国ベタベタおベン路めぐり (4/1～3/31) 詳細

2019/03/26 【イベント情報】
第18期 里山自然体験教室 (4月～12月) 詳細

2019/03/26 【イベント情報】
2019年度 森林ボランティアリーダー養成講座受講生募集 (4月開講講座) 詳細

2019/03/26 【イベント情報】
仁淀川ガサガサ探偵団 (5/12) 詳細

こーちの
こどもエコクラブ

高知県環境共生課
Environmental symbiosis Division

高知県林業振興・環境部
新エネルギー推進課

高知県環境局環境化防止
県民会議

高知県地球温暖化防止
県民会議県民部会

KCCCA
高知県地球温暖化防止センター

四国EPO

平成30年度
高知「環境絵日記」
選考結果発表

第4回
こうちエコ川柳大賞
★選考結果発表★

こどもエコクラブ
JUNIOR ECO CLUB

環境関連のイベント・ニュースを配信
メールマガジン
えこらぼだより

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

■管理運営団体
特定非営利活動法人 環境の杜こうち
〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL：088-802-7765 FAX：088-802-2205

home about mail

Copyright © ecolabo All Rights Reserved.

1) ホームページによる環境活動情報の提供

① 環境活動団体及び環境学習講師のデータベース（検索機能付）

高知県内で環境活動に取り組む団体や環境学習講師として活動する方々に登録していただき、データベースを公開しています。年に一度、登録内容の確認・更新作業を行い、また、新しく登録した団体や講師に関する情報を随時掲載し、県民に広く情報を提供しています。

[登録]	環境活動団体： 122 団体	環境学習講師： 161 名
------	----------------	---------------

② 自然体験・環境学習施設一覧

高知県内で自然体験や環境学習プログラムを提供している施設に関する情報をまとめて、ホームページで公開しています。また、これらの情報は、事務局に寄せられる環境学習に関する問合せ等への対応にも役立てています。

③ 環境関係のイベント情報や助成金情報の提供

毎週火曜日に県内の環境イベントや助成金等の情報を収集し、定期的な情報発信をしています。

[掲載件数]	イベント情報： 254 件	募集・お知らせ： 34 件
	助成金情報： 63 件	

2) ホームページ以外の情報提供

① メールマガジン「えこらぼだより」の配信

県内で実施される環境に関するイベント情報や助成金情報などを、毎週火曜日に配信しています。

[配信頻度]	毎週火曜日	[登録者数]	1,161 名
[主な配信先]	環境に関心のある県民、県内の環境活動団体、県内の小・中・高等学校、県・市町村職員、県内マスコミ各社 など		

② 学校への直接的な情報提供

学校や教育委員会等に対し、事業案内資料を送付するとともに、学校を対象とする各種事業に関する情報提供を随時行いました。

③ SNS を活用した情報の発信

センターが実施する各種事業の告知・報告等に Facebook を積極的に活用しました。

[投稿記事数]	56 件	[フォロワー数]	383 名
---------	------	----------	-------

2 地域や教育現場における環境学習の支援

1) 環境学習講師の紹介・派遣

学校等からの相談に対し、適切な環境学習講師の紹介、派遣日時や内容等を含めた全体の調整を行っています。また、相談者が講師の謝金、旅費等を負担しえない場合は、講師に活動費を支給しています。

〔講師紹介・派遣件数〕	42 件	〔紹介・派遣した講師〕	67 名
〔環境学習受講者数〕	2,121 人		



8/4 フジグラン高知 キッズ・チャレンジ・ラボ
「カエルを知って！」
講師：谷地森 秀二 さん



7/9 高知市立浦戸小学校
「ビーチクリーンアップ」
講師：内田 洋子 さん

平成 30 年度「学校新聞づくりコンクール」特選 高知市立浦戸小学校 3・4 年生 浦戸の海を守り隊

学校の近くの海岸でウミガメが産卵をしなくなった理由を調べていた高知市立浦戸小学校 3・4 年生の授業に、ビーチクリーンアップに取り組んでいる内田洋子さんと、高知大学でウミガメの研究をしている斉藤知己先生を講師として紹介し、海ごみの原因やウミガメの生態と産卵に適した砂浜の環境についての学習を支援しました。学習のまとめとして作成した新聞が、平成 30 年度「学校新聞づくりコンクール」で特選に選ばれました。



2) 第7回 高知「環境絵日記」

高知県内の小学生を対象に、子どもたちが夏休みに環境について考え、行動し、その経験を絵日記に表現することで、環境への意識や理解を育むことを目的とした「環境絵日記コンテスト」を実施しています。

平成30年度の作品テーマは「みて！見て！聞いて！ぼくのわたしのエコじまん」です。県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集し、77の小学校から4,160作品の応募がありました。



作品テーマ	「みて！見て！聞いて！ぼくのわたしのエコじまん」
募集期間	平成30年6月1日～9月10日
応募資格	高知県の小学校に通う1～6年生 自筆・未発表の作品
応募方法	在学の小学校へ提出（学校ごとに取りまとめて応募）
協力	全国環境絵日記実行委員会

① 平成30年度応募数

作品数：4,160点 学校数：77校 参加市町村数：21市町村

② 選考委員会の開催

有識者5名からなる選考委員会を開催し、募集要項および作品テーマの決定、表彰対象作品の選考を行いました。

	開催日	内容
第1回選考委員会	平成30年 5月8日	募集要項、作品テーマの決定
第2回選考委員会	平成30年 10月30日	2次選考および優秀作品選考会

③ 作品選考会の実施

平成30年10月20日、高知県地球温暖化防止活動推進員、大学生等からなるボランティア選考員による1次選考会を行い、2次選考の対象となる109作品を選考したのち、10月30日に選考委員会による2次選考および優秀作品選考会を行い、以下の賞を選出しました。

■個人の部

環境絵日記大賞	全作品から最も優れた作品1点
優秀特別賞	低学年の部（1～3年生）、高学年の部（4～6年生）より10点
部門賞	低炭素社会づくり賞、循環型社会づくり賞、 自然共生社会づくり賞 各1点
のいち動物公園長賞	1点
入賞（えこらぼ賞）	全作品の中から94作品

■団体の部

学校賞	入賞作品の多い学校から低学年、高学年それぞれ1校ずつ
学校特別賞	特に熱心な取り組みをした学校を3校

④ 選考結果の発表

選考結果の発表は、平成 30 年 10 月 31 日にホームページで行いました。

高知県環境活動支援センター

えこらぼ

〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目115番地 こうち男女共同参画センター3F
TEL: 088-802-7765 FAX: 088-802-2205

★home About mail

平成30年度 高知「環境絵日記」

みて！見て！聞いて！ぼくのわたしのエコじまん

環境活動支援センターえこらぼでは、今年の夏も、高知県内の小学生が描いた「環境絵日記」の作品を募集しました。

「環境絵日記」は、子どもが夏休みに家族と一緒に環境について考え、行動し、その経験を絵日記という形で楽しみながら表現することで、子どもたちに環境への意識を育んでもらおうというねらいで始めた取り組みです。

平成30年度の作品テーマは「みて！見て！聞いて！ぼくのわたしのエコじまん」。

高知県内の小学校に通う1～6年生を対象に作品を募集し、77の小学校から4,160作品の応募がありました。

えこらぼについて

イベント情報

お知らせ・募集情報

学校や地域での環境学習をサポート
講師紹介・派遣

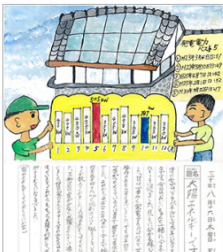
体験プログラムや学習会に参加しよう
高知県の環境学習施設一覧

活動を知ろう・なかまを増やそう
環境活動団体紹介

生物多様性を守る取り組み

高知「環境絵日記」

こどもエコクラブ高知県事務局



環境絵日記大賞

「太陽エネルギーってすごいな」
南国市立久礼田小学校4年生 杉山 大起さん

4,160の応募作品の中から、「環境絵日記大賞」「優秀特別賞」「部門賞」「のいち動物公園長賞」「入賞（えこらぼ賞）」に選ばれた109作品を紹介します。児童のみなさんの、身近な環境についての発見をどうぞご覧ください。

[平成30年度高知「環境絵日記」入賞作品一覧へ](#)

また、11月19日の高知新聞朝刊「こども高知新聞」でも紹介されました。



平成 30 年度高知「環境絵日記」講評

—子どもたちの考えや気持ちがいきいきと伝わる— たくさんの「エコじまん」—

応募作品数は 7 年で 10 倍以上に 学校での活用広がる

高知「環境絵日記」は、高知県内の児童のみなさん、保護者のみなさん、教員のみなさんに支えられて、また去年よりも少し成長することができました。ありがとうございました。今年の応募数はなんと 4,160 でした。高知「環境絵日記」がスタートした平成 24 年の応募数は約 300 でしたから、10 倍以上になったということです。このことは選考委員も予想していなかったことで、おどろきです。児童のみなさん、支えてくださった保護者や教員のみなさま、本当にありがとうございました。

「環境絵日記」を送ってくださった学校も増え、今年は 77 の小学校がご参加くださいました。社会科や理科、総合的な学習の時間で自然環境や資源、エネルギーのことを学習した振り返りに「環境絵日記」に取り組んでくださった学校もあります。特別活動の時間などを使って、「環境絵日記」を題材に話し合った学校もありました。「環境絵日記」を活用する方法も広がってきていて、ありがたく思っております。



環境を大切にする人が増えていることを実感

環境絵日記を選考していると、みなさんが環境保全についてほんとうによく学校で学習していることがわかります。リサイクル・リユース・リデュースといった資源の循環ということも理解しているし、最近話題となったマイクロプラスチックについてもよく学習していました。また、環境絵日記を読んでいると、みなさんがさまざまな環境保全活動をしていることもわかります。家族で海岸の清掃活動に参加したり、自然観察会に参加したりした

ことが絵日記のなかに描かれていました。環境保全の意識が家族のなかにもしっかりと根付いてきているということが、絵日記をみているとよくわかり、環境を大切にする人が増えていることを、みなさんの作品を通して実感しています。

選考委員をうならせた観察力・表現力 「文章力が向上している」という評価も

さて、本年度の環境絵日記大賞には「太陽エネルギーってすごいな」が選ばれました。この環境絵日記を読むと、9 年間も働き続けている我が家自慢の太陽光パネルのすばらしさが伝わってきます。9 年間で 45,497kw もの電力を供給し、8,000 kg もの二酸化炭素の排出を抑えた太陽光パネルはほんとうにすごいですね。また、9 年間の我が家のデータを分析する際に、自分なりの仮説を立て、分析結果と違うことに気づき、驚いたことも書かれていました。なぜ、5 月に発電量が多くて、10 月に少ないのか？この疑問が絵にわかりやすく表現されており、われわれ選考委員も、うーんとうなりました。最大発電ベストファイブも夏ではなく、3 月あたりなのも、なぜなのでしょう？

選考委員からは、応募作品の文章力が上がっているという意見がありました。入賞作品の「エコにつながる小言」「クジラがしんだわけ」「まほういちご」「ポイすてはブーメラン」といった見出しはたいへん興味をひくもので、思わず文章に引き込まれます。絵日記の文章もわかりやすく説明するだけでなく、会話を効果的に使うなどの工夫によって、「おもしろい」とか「すばらしい」と気づいた場面がいきいきと描かれ、みなさんの考えや気持ちが実感をもとになって伝わってきました。

この他にもたくさんの良い作品があり、おしくも入賞をのがしたいいずれの作品も、作者であるみなさんの姿と「エコじまん」がほんとうにいきいきと伝わってくるものばかりでした。ですから、選考にはたくさんの時間をかけ、実に苦労しました。環境絵日記大賞作品 1 点と優秀特別賞作品 10 点、部門賞 3 点を選びましたが、本当はすべての作品を表彰したい気持ちでいっぱいです。これからも、家族みなさんと一緒に身近なエコにチャレンジして、来年も応募してください。



⑤ 表彰式

「環境絵日記大賞」、「優秀特別賞」、「部門賞」、「のいち動物公園長賞」、「学校賞」および「学校特別賞」受賞校を表彰しました。

開催日	平成 30 年 11 月 10 日（日）13:30～15:00
場 所	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館 1 階



⑥ 作品展

高知県立のいち動物公園での入賞作品展をはじめ、県内各地で行われるイベントの会場等で作品展を行いました。特に地域で開催されるイベントでは、その地域の小学校からの全応募作品を展示し、地域の方々に地元の子どもたちの作品を見てもらう機会としました。

日 程	会 場	
平成 30 年 11 月 3 日	大月町産業祭	大月町総合グラウンド
平成 30 年 11 月 10 日 ～11 月 25 日	平成 30 年度高知「環境絵日記」 入賞作品展	高知県立のいち動物公園 どうぶつ科学館
平成 30 年 11 月 23 日	香南ふれあい祭り	香南市のいちふれあいセンター
平成 30 年 12 月 2 日	環境絵日記展 2018	横浜市 大さんばしホール
平成 30 年 12 月 8 日	環境活動見本市 in 室戸市 －東部のエコ大集合－	室戸世界ジオパークセンター
平成 30 年 12 月 11 日 ～12 月 25 日	平成 30 年度高知「環境絵日記」、 こうちエコ川柳大賞展	こうち男女共同参画センター ソーレ
平成 31 年 2 月 2 日 ～2 月 3 日	こうち環境博 2019	こうち男女共同参画センター ソーレ
平成 31 年 2 月 25 日 ～3 月 8 日	平成 30 年度高知「環境絵日記」、 こうちエコ川柳大賞展	高知県庁ロビー
平成 31 年 3 月 17 日	物部川に感謝する日～つなが っちゅうがで物部川～	高知工科大学



2/2・3 こうち環境博 2019



3/17 物部川に感謝する日

⑦ 「こうち環境絵日記 in Tシャツアート展」

黒潮町で開催された「Tシャツアート展」(平成 30 年 5 月 2 日(水)～7 日(月)、主催：特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術館)に、平成 29 年度の優秀作品を出展し、県民に広く環境絵日記を知ってもらう機会としました。展示後のTシャツは記念品として受賞児童にプレゼントしました。



また、次回の「Tシャツアート展」(平成 31 年 5 月 2 日(木)～7 日(火))に出展するため、今年度の優秀作品をプリントしたTシャツを制作しました。制作したTシャツは、11 月に県立のいち動物公園で実施した入賞作品展と、2 月 2 日、3 日に開催した「こうち環境博 2019」で一足先に展示し、PRを行いました。

⑧ 高知「環境絵日記」PR 用カレンダーの作成

高知「環境絵日記」の認知度向上と、次年度の参加校拡大につなげるため、昨年度に引き続き、今年度の優秀作品を掲載したカレンダーを作成しました。このカレンダーは、2019 年度の募集に合わせて、県内の小学校等へ配布します。

仕様： A4 版 16 ページ

作成部数：1,000 部



⑨ 地域における環境絵日記の活用

◇『高知「環境絵日記」大月賞』

高知「環境絵日記」の取組に賛同した大月町地域資源活用協議会が、大月町内の小学生が応募した環境絵日記を独自に選考・表彰する『高知「環境絵日記」大月賞』を創設し、平成30年11月3日に行われた「大月町産業祭」において、表彰式を行いました。えこらぼは、作品データの貸与、記念品の提供などの協力をしました。

[大月賞の内容] 大月町長賞、大月町教育長賞、大月小学校長賞、(株)グリーンパワーインベストメント賞、各1作品ずつ



◇南国市指定ごみ袋包装紙による普及啓発

南国市が、市の指定ごみ袋の包装紙に、南国市内の小学校から応募された環境絵日記作品を掲載しました。この取り組みは平成25年度から継続して行われており、「環境絵日記」を通して地域の方々に子どもたちの環境意識を届ける機会となっています。



3) こどもエコクラブ事業

高知県事務局および市町村事務局のない区域の事務局として、県内の小中学校や企業・団体等への情報発信および新規登録の推進、こども達の地域での環境保全活動や環境学習に対する支援を行いました。

高知県内のこどもエコクラブ

登録数：12 クラブ メンバー数：115 人

① こどもエコクラブ壁新聞の募集

1年間の活動をまとめた壁新聞を募集し、こどもエコクラブ全国事務局が実施する「こどもエコクラブ全国エコ活コンクール」に応募しました。

応募数：6 クラブ 7 作品



高知県からは「香美市こどもエコクラブ みどりサイクル」の作品「世界一楽しいのはエコクラブ」が県代表に選ばれ、「こどもエコクラブ全国エコ活コンクール 壁新聞部門」において、全国から応募のあった 157 作品の中から環境大臣賞を受賞し、平成 31 年 3 月 24 日（日）に東京で開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル」で表彰されました。



平成 30 年度こどもエコクラブ全国エコ活コンクール 壁新聞の部
環境大臣賞 受賞 香美市こどもエコクラブ みどりサイクル



エコクラブ活動はとてもたのしいです！
これからもつづけていきたいです。

壁新聞づくりは大変だったけど、
がんばって書いてよかったです。

② こどもエコクラブ壁新聞展・交流発表会の開催

平成 31 年 2 月 3 日（日）に開催された「こうち環境博 2019」（主催：NPO 法人環境の杜 こうち）において、こどもエコクラブ壁新聞展と交流発表会を開催し、県内の 6 つのクラブが参加しました。また、同日、各クラブのサポーターと事務局によるサポーター意見交換会を実施し、各クラブの活動や運営上の課題、また県内におけるエコクラブ登録の推進について、情報交換や意見交換を行いました。



3 生物多様性地域戦略推進事業

1) 生物多様性こうち戦略推進リーダー養成講座の開催

「生物多様性こうち戦略」を推進するため、生物多様性の保全や普及、担い手育成、各主体間の連携促進や地域資源の発掘・活用に関しての専門性を有する先導的な人材として、平成30年度末までに50名の「生物多様性こうち戦略推進リーダー」(以下、推進リーダー)の登録を目標に、養成講座(全2回)を開催しました。

① 高知市会場

日時：平成30年9月2日(日) 10:00～16:00

場所：こうち男女共同参画センター ソーレ

受講者：14名(定員30名)

② 四万十市会場

日時：平成30年9月9日(日) 10:00～15:00

場所：四万十市立中央公民館

受講者：11名(定員20名)



■ 講座内容

◇生物多様性こうち戦略推進リーダー登録制度の概要

高知県林業振興・環境部 環境共生課 チーフ 中川 範之

◇高知県の自然環境の現状と課題及び必要な対策について、生物多様性こうち戦略について

高知大学名誉教授特任シニアプロフェッサー 石川慎吾 氏

◇活動事例発表

① [里山] 里山を生かした久重のまちづくり 久重地域連携協議会里山部会長 橋詰辰男 氏

② [海] 海の生きものを通した普及啓発 漁師 松尾拓哉 氏

③ [林業] 梶原町森林組合の取り組み 梶原町森林組合 森林整備課 課長補佐 片岡直裕 氏

④ [観光] NPO 砂浜美術館の取り組み NPO 法人 NPO 砂浜美術館 理事長 村上健太郎 氏

◇ワークショップ 「推進リーダーが地域でできること、地域にできることを考える」



高知市会場



四万十市会場

■登録状況

登録者数：40名 ※うち 平成30年度登録者：16名

2) リーダー活動現場体験ツアーの実施

地域における生物多様性保全や環境教育の担い手となる人材を育てることを目的に、推進リーダーが活動している現場への体験ツアーを実施しました。

①「久重里山ウォーク」への参加

推進リーダーの橋詰辰男さんが所属する「久重地域連携協議会 里山部会」が主催するイベント「久重里山ウォーク」（高知市）に地域住民らとともに参加し、その後参加者と主催団体の交流と意見交換を行いました。

久重地域連携協議会は、高知市コミュニティ計画「久重のまちづくり計画」を策定してまちづくりを行っており、その計画のひとつに「生物多様性の保全」を掲げ、里山保全活動や普及啓発活動に取り組んでいます。イベント後の意見交換では、協議会のメンバーから、「橋詰さんが推進リーダーになったことで、自分たちが行っている活動が生物多様性の保全に貢献しているという価値に気付いた」との感想が聞かれました。久重地域連携活動協議会のように、地域で環境保全活動等に取り組む人たちが推進リーダー等による適切なガイドを置いて活動を行うことによって、活動の価値を高めたり広げたりするための言葉を得ることができ、生物多様性こうち戦略の普及につなげることができるということを実感しました。

実施日：平成30年12月2日（日）

場 所：高知市久重地域

対象者：生物多様性こうち戦略推進リーダー、リーダー養成講座受講者 等

コーディネーター・ガイド：橋詰 辰男 氏（生物多様性こうち戦略推進リーダー）

アドバイザー：岩瀬 文人 氏（生物多様性こうち戦略推進リーダー）

参加者：6名



里山ウォーク



意見交換

② 夜須町「自然を愛する会」の活動視察

推進リーダーの中島久枝さんが所属する「自然を愛する会」によるホタル生息地を保全する取組みを視察して、活動の成果や今後の課題について質問や意見交換を行い、地域における生物多様性の保全活動についての知見を深めるとともに、参加者間の交流を図りました。

意見交換会では、里山保全やホタルの生態に詳しいリーダーから活動現場の環境整備について多くの知見を得ることができました。仲間を増やし、活動を広げたいという課題についても、「地域住民が参加できるたのしいイベントも同時にやっていくと良い」「地域の学校との連携を図るために、冬の間も休耕田に水を引き、ホタルだけでなく多様な生きものに目を向けた環境づくりをして、環境学習に活用してもらいやすくしてはどうか」等、参加者の経験に基づく具体的なアイデアが次々と出されました。また、人的交流も活発に行われ、参加者の中から「自然を愛する会」への新規入会者が得られるなど、有意義な交流の機会となりました。

日 時：平成 31 年 3 月 10 日（日）13:00～16:00

場 所：香南市夜須町十ノ木地区

対象者：生物多様性こうち戦略推進リーダー、リーダー養成講座受講者 等

コーディネーター・ガイド：中島 久枝 氏（生物多様性こうち戦略推進リーダー）

アドバイザー：石川 妙子 氏、橋詰 辰男 氏（生物多様性こうち戦略推進リーダー）

参加者：9 名



ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの
三種が生息する耕作放棄地を視察



意見交換

4 環境イベントの開催

1) 「環境活動見本市 in 室戸市 ―東部のエコ大集合―」 の開催

高知県東部地域の環境活動団体や環境学習講師の活動を地域の方々に紹介するとともに、学校や生涯学習の場への環境学習講師紹介・派遣の普及を図ることを目的とする、体験型環境学習イベントを開催しました。



日 時：平成30年12月8日(土) 10:30～15:00

会 場：室戸世界ジオパークセンター(室戸市室戸岬町)

対象者：こどもを含む家族連れ、こども向けイベントに関心のある県民、学校関係者、生涯学習関係者など

来場者：350人

出展・参加者数：18団体・個人

共 催：室戸ジオパーク推進協議会

協 力：NPO法人高知県生涯学習支援センター



えこらぼの登録講師・団体を中心に 18 団体・個人が参加し、体験型環境学習プログラムや展示のほか、ダンボール巨大迷路や木のおもちゃコーナーなどの遊びのプログラムを提供し、親子連れを中心に、室戸市内外から多くの来場がありました。

開催にあたっては、えこらぼの登録講師・団体の他、室戸ジオパーク推進協議会（室戸市）の協力により、これまでにつながりのなかった団体の参加も得ることができ、県東部地域における環境活動のネットワークの拡大につながりました。

■出展社（18 団体・個人 敬称略）

- ・むろと漁師の水族館 marine+
- ・浅川幸子
- ・堀田幸生
- ・NPO 法人四国自然史科学研究センター
- ・長崎志津男
- ・高知おもちゃ病院安芸診療所
- ・高知県生涯学習支援センター
- ・NPO ウォーターズ・リバイタルプロジェクト
- ・室戸ジオパーク推進協議会
- ・室戸青少年自然の家
- ・海辺の自然学校
- ・公益財団法人 高知県牧野記念財団
- ・環境省四国環境パートナーシップオフィス
- ・公益社団法人高知県森と緑の会
- ・高知県地球温暖化防止県民会議県民部会
- ・北川村「モネの庭」マルモッタン
- ・高知工科大学エネルギー科学教育研究会
- ・室戸市立佐喜浜小学校 6 年生

5 生物多様性の意義の普及・啓発

1) 普及啓発キット（パネル・資料等）の貸出し

生物多様性こうち戦略推進リーダーの活動支援を目的に、講師としての活動やイベント出展時に使用してもらうための普及啓発パネルや資料等の貸出を行いました。

■普及啓発キットの内容

- ・生物多様性こうち戦略（概要版）パネル（13 枚）、パンフレット
- ・「生物多様性×こうち」ハンドブック（高知県作成）
- ・「生物多様性×こうち」缶バッジ、エコバッグ



仁淀川こども祭り



環境活動見本市 in 室戸市
スタンプラリーの景品としてエコバッグを配布

■活用実績

利用日	場所・イベント等	活用内容
平成 30 年 4 月 22 日	アースデイズピクニック（高知市）	資料配布、エコバッグぬりえコーナーの実施
7 月 31 日	高知大学農林海洋科学部 1 回生の授業	約 100 名に資料の配布
9 月 23 日	仁淀川こども祭り（日高村）	パネル展示、資料・バッジ、エコバッグの配布
11 月 3 日	大月町産業祭（大月町）	環境絵日記大月賞記念品としてエコバッグ配布
11 月 10 日	高知「環境絵日記」表彰式（香南市）	受賞者にエコバッグ配布
11 月 17 日	はたのおと 2018（四万十市）	エコバッグ配布
12 月 8 日	環境活動見本市 in 室戸市（室戸市）	資料・バッジ、エコバッグの配布
平成 31 年 2 月 2・3 日	こうち環境博 2019（高知市）	パネル展示、資料の配布
3 月 17 日	物部川に感謝する日～つながっちゅうがで物部川～（香美市）	資料・バッジ、エコバッグの配布

2）イベント開催・出展の機会を捉えた普及啓発活動

自然や生きもの、環境をテーマにしたイベントへの出展を通して、前述の普及啓発パネルや資料等を用い、広く県民に生物多様性の意義の普及・啓発を行いました。

イベント出展の際には、生物多様性こうち戦略推進リーダーの協力を得て、リーダーによる環境学習プログラムを実施しました。

■出展イベント

利用日	場所・イベント等	出展内容
平成 30 年 4 月 22 日	アースデイズピクニック（高知市）	生物多様性×こうちエコバッグぬりえコーナー
9 月 23 日	仁淀川こども祭り（日高村）	メダカビンゴクイズ、生きものつながりマップ など
11 月 17 日	はたのおと 2018（四万十市）	「環境活動見本市」in 黒潮町の成果発表
12 月 8 日	環境活動見本市 in 室戸市（室戸市）	深海生物タッチングプール、サンゴのスタンプ
平成 31 年 2 月 2・3 日	こうち環境博 2019（高知市）	深海生物タッチングプール、生物多様性こうち戦略パネル展



深海生物タッチングプール
(こうち環境博 2019)



生物多様性こうち戦略パネル展
(こうち環境博 2019)

6 体験型環境学習・研修イベント

1) 環境×仕事の現場を見に行くツアー「海のプラごみと私たちの暮らし」の実施

企業等による環境への取り組みを見学し、自分の目で見て当事者と対話し、何ができるかを考える学びの機会を提供することを目的とするツアーを開催しました。対象者は小学生以上とし、国際的な環境問題として大きな関心を集めているプラスチックごみによる海洋汚染をテーマに、プラスチック減容工場とプラスチック再生センターを見学して、廃プラスチックの現状とリサイクルのしくみについて学びました。

参加者からは、「収集されたプラスチックごみの仕訳が手作業で行われている様子に驚き、ごみの出し方に気を付けたいと思った」「海洋汚染の恐ろしさ、プラスチック製品を作る責任、使う責任について伝えていきたい」「地道にごみを拾い、成果を公表していきたい」などの感想が聞かれました。また、「より多くの方が参加できるよう、このような学習会をまた開催してほしい」というご意見もいただきました。

■日 時 平成 31 年 3 月 29 日 (金) 9:00~12:00

■会 場 高知県立県民文化ホール 第8多目的室

■見学先 高知市菖蒲谷プラスチック減容工場

高知市プラスチック再生センター (田中石灰工業株式会社)

■実施内容

1. 種崎海岸に打ちあがるプラスチックごみについて (座学)
2. 高知市菖蒲谷プラスチック減容工場の見学
3. 高知市プラスチック再生センター (田中石灰工業株式会社) の見学
4. 講師や担当職員との質疑応答や参加者間の意見交換
5. ツアーの様子をホームページ等で公開

■講 師

環境省 四国環境パートナーシップオフィス 内田 洋子 氏

■参加者 9 名



海に流出するプラスチックごみについての解説



高知市菖蒲谷プラスチック減容工場



収集した容器包装プラスチックごみの選別作業



高知プラスチック再生センターで廃プラスチックから再生素材を作る仕組みを学ぶ

7 環境活動団体の支援

1) 団体交流会の開催

「環境活動見本市 in 室戸市 ―東部のエコ大集合―」(p. 15 4 環境イベントの開催)は、広く県民に環境学習の機会を提供するとともに、地域の環境活動団体の交流の機会として位置づけたことを踏まえ、出展予定団体を対象に開催準備・交流会を実施しました。

交流会には県東部地域の 7 団体・個人が参加し、今回のイベントのねらいの一つである「環境学習の実施機会の拡大」についての意見交換を行いました。出席者が地域で行っている環境学習の事例などを共有するとともに、「環境活動見本市」への出展団体の提案や、学校との連携についての情報を得ることもでき、よい情報収集の機会にもなりました。

また、この交流会をきっかけに、イベント出展経験のない団体を生物多様性こうち戦略推進リーダーがサポートし、一緒に体験プログラムを考え出展するなど、出展者間の実践的な交流につながりました。



■参加者：7 団体・個人（敬称略）

- ・ 室戸ジオパーク推進協議会
- ・ 松尾拓哉
- ・ 奈半利海辺の自然学校
- ・ NPO ウォーターズ・リバイタルプロジェクト
- ・ 浅川幸子
- ・ 室戸青少年自然の家
- ・ 高知県生涯学習支援センター

■主な意見：

- ・ 地域の教育力が薄れている。学校の中に地域の人に入ってもらうことが必要。地域とのかかわりを再構築するために取り組みをしている（高知県生涯学習支援センター）
- ・ 自分の子どもが通う学校で授業をさせてもらっている。魚の生態を学ぶ学習、調理して食べることによる食育、漁師の仕事を知ってもらうキャリア教育の3つの目的がある。
- ・ 環境学習の実施機会の拡大を目指すには、研究授業の発表と組み合わせるなど、学校関係者が集まる要素を加えると良い。
- ・ 地元小学生の総合学習のポスター展示だけでもできないか、教育委員会に問合せてみてはどうか。

2) 助成金情報の提供

メールマガジン「えこらぼだより」を通して、助成金や補助金募集に関する情報を提供しました。また、環境活動団体や生物多様性こうち戦略推進リーダー等を対象に、それぞれの活動内容に合った助成金等を個別に紹介したり、申請書の書き方についての助言を行うなど、外部資金獲得のための支援を行いました。

■メールマガジン「えこらぼだより」

助成金情報の提供 63 件

「オーライ！ニッポン ライフスタイル賞」受賞！

松尾拓哉さん（生物多様性こうち戦略推進リーダー）

松尾さんは、室戸市で漁師を生業としながら高知の自然環境と海から得られる恵みのすばらしさを伝える「漁師の水族館」をつくることを目指し、移動水族館等の活動を行っています。夢に向かって奮闘する松尾さんの追い風になればと、「第16回オーライ！ニッポン大賞」への応募を勧めたところ、「オーライ！ニッポン ライフスタイル賞」の受賞につながりました。

受賞をきっかけに、より多くの人に活動が認知され、応援してくれる人が増えることを願っています。



8 その他、環境保全や環境学習、県民・環境団体の環境活動の支援に資する業務

1) 環境学習プログラムリストの作成

学校・地域における環境学習機会の提供を拡大するため、学校向けの環境学習プログラムの作成・配布に取り組んでいます。

① 小学校向けプログラムリストの作成・配布

小学校においては、2020 年度に完全実施される新学習指導要領による英語の教科化などで総授業時間が増え、また、「主体的で深い学び」に向けたアクティブ・ラーニングの導入などにより、これまでの総合的な学習の時間を中心とした環境学習から、教科の中の環境学習の導入へと移行しつつあります。

これらの現状を踏まえ、えこらぼでは学校のカリキュラムの中での外部講師による環境学習の利用促進を図ることを目的に、全学年において最も授業数の多い国語科の題材に関連し、かつ理科や社会科など他教科との横断的な学習に活かすことのできる環境学習プログラムを紹介するパンフレットを作成し、県内の小学校に配布しています。

昨年度は、小学校において最も多く環境学習が行われる 3、4 年生を対象にしたパンフレットを作成しました。今年度は、昨年度作成したパンフレットを基に、高知市教育研究会環境教育部会の協力を得て授業モニターを実施するとともに、教員へのヒアリングを行い、より学校現場で活用しやすいものになるよう、内容のブラッシュアップを図りながら、1 年生から 6 年生までの全学年を対象に作成しました。

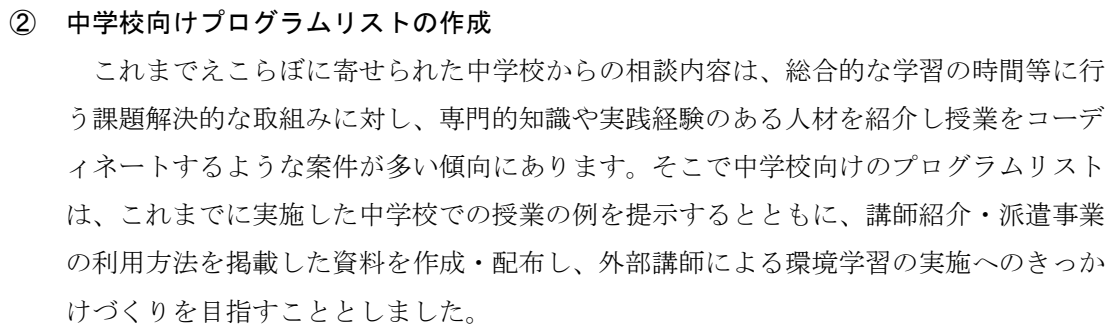
ヒアリングの中で、新学習指導要領では、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科横断的な視点で組み立て、組織的かつ計画的に行っていくカリキュラムマネジメントが求められているという助言を得ました。そこで、今回作成するパンフレットは、1～6 年生までの学年ごとに、環境学習を取り入れた 1 年間のカリキュラム例を示し、対応する環境学習プログラムの実施例を提示することで、先生方がカリキュラム作りをイメージしやすくなることを目指しました。カリキュラム例の作成にあたっては、環境教育部会の先生方に参加していただき、実際に行っている授業等を例に、具体的なアドバイスを受けながら進めました。

仕様：A4 判 10 ページ

作成部数：3,000 部

配布先： 高知県内の小学校 203 校、高知県・各市町村教育委員会

PDF 版ダウンロード URL：<http://ecolabo-kochi.jp/use-program.html>

[illegible]

2) 「地球温暖化と公共交通」をテーマにした出前授業の実施

公共交通の利用促進による CO2 削減を目的に、主に小学校を対象とし、本物のバスと IC カード「ですか」を使った出前授業を実施しました。

■出前授業の実施

平成 30 年	8 月 24 日	高知市立第四小学校	放課後児童クラブ 60 人
	9 月 14 日	高知市立介良小学校	4 年生 76 人（授業参観）
	10 月 19 日	高知市立介良潮見台小学校	5 年生 45 人
	10 月 20 日	高知市立朝倉小学校	4 年生 70 人
平成 31 年	2 月 6 日	高知市立潮江東小学校	4 年生 61 人
	2 月 12 日	高知市立春野東小学校	5 年生 103 人

■授業の内容

◇地球温暖化と公共交通

地球温暖化の原因と影響について知り、公共交通の利用が CO2 排出削減につながることを学習する。

◇高知の公共交通の今

高知県内の公共交通の利用状況と今後の課題について知る。

◇電車・バス乗り方マスターへの道！

乗車のマナー、IC カード「ですか」の使い方について学習する。

◇「ですか」でバスに乗ってみよう！

IC カード「ですか」を使った乗車体験を行う。



地球温暖化と公共交通の利用について学習



IC カード「ですか」を使ったバス乗車体験

3) 「こうちエコ川柳大賞」の実施

高知県の自然環境や環境問題についての気づき、エコに関する微笑ましい体験談等を五・七・五の川柳で表現する「エコ川柳」を募集し、大賞・優秀賞の受賞者に、県内企業によるカーボン・オフセット登録商品を贈呈しました。応募作品は、えこらぼのホームページ、メールマガジン「えこらぼだより」等を通じて公開したほか、イベント会場等で展示を行い、県民に楽しみながら環境について考える機会を提供しました。

募 集	発 表
第 3 回 平成 30 年 4 月 16 日～平成 30 年 5 月 15 日	平成 30 年 6 月 1 日
第 4 回 平成 30 年 10 月 15 日～平成 30 年 11 月 15 日	平成 30 年 12 月 1 日

■応募方法等

- ・応募条件：応募は 1 人 3 句まで。作品は、本人創作の未発表作品とする。
- ・対 象 者：高知県内在住者
- ・応募方法：ウェブサイトの応募フォーム、ハガキ、FAX のいずれかで応募。

■応募作品数

第 3 回 209 作品（96 人） 第 4 回 171 作品 （85 人）

■審査・表彰

選考委員会により、大賞 1 作品、優秀賞 3 作品、入賞 10 作品を選考し、大賞・優秀賞の受賞者には記念品として、CO2 の削減に貢献するカーボン・オフセット付き商品をプレゼントしました。

・第 3 回記念品

大 賞 （1 名）「グルメ 6 缶セット」（(株)黒潮町缶詰製作所）
優秀賞 （3 名）「shimanto フルフル 2 本セット（青のり味・梅しそ味）20g×2」
（しまんと百笑かんぱに株式会社）

・第 4 回記念品

大 賞 （1 名）「芋けんぴ（小袋 10 袋入り）（芋舗 芋屋金次郎）
優秀賞 （3 名）「かつお塩ポンズ・かつお柚子ポンズ」
（しまんと百笑かんぱに株式会社）

■入賞作品

★ 第 3 回こうちエコ川柳大賞

大 賞 おさがりの服 お姉ちゃんの匂い ちょっとする
優秀賞 空き瓶の 一輪挿しが 駅で生き 他 2 作品

★ 第 4 回こうちエコ川柳大賞

大 賞 温暖化 スピードあげて 攻めてくる
優秀賞 ちょっとこら ごくどうせんと 分別し 他 2 作品

■ 展 示

日 程	会 場
平成 30 年 12 月 11 日 ～12 月 25 日	平成 30 年度高知「環境絵日記」、 こうちエコ川柳大賞展
平成 31 年 2 月 2 日 ～2 月 3 日	こうち環境博 2019
平成 31 年 2 月 25 日 ～3 月 8 日	平成 30 年度高知「環境絵日記」、 こうちエコ川柳大賞展
	高知県庁ロビー



こうち男女共同参画センター ソーレ



こうち環境博 2019

4) 環境にやさしい行動への変容を促すリーフレットの作成と配布

高知県がめざす、地球温暖化対策が進んだ低炭素社会、環境への負荷が少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会の 3 つの社会づくりに向け、県民一人ひとりの行動変容を促すことを目的としたポケット版リーフレット「まもろう高知の環境」を作成し、えこらぼが実施するイベントやツアー、環境学習の参加者等に配布しました。

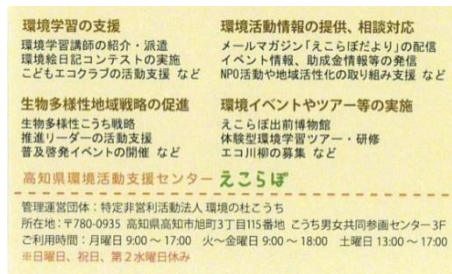


9 PR 活動

1) PR ツールの活用

えこらぼの認知度・存在感の向上を図るため、イベントやツアーの実施や出展の際に使用する、「高知県環境活動支援センターえこらぼ」のロゴの入ったのぼりを活用しました。

また、パンフレットよりも気軽に受け取ってもらえるPRツールとして、えこらぼの連絡先やURL、事業案内を記した名刺大のカードをイベントや環境学習の参加者に配布しました。



2) 報道機関への情報提供

センターが行うイベント等の実施に際しては、事前の報道機関への情報提供や後援申請を確実にし、取材や情報発信を要請しました。

■報道実績

媒体		日付	内容
ラジオ	RKC 高知放送	4/9	えこらぼの紹介
		10/15	第4回 こうちエコ川柳大賞募集
		12/4	環境活動見本市 in 室戸市 告知
		12/10	第4回 こうちエコ川柳大賞結果発表
		3/25	環境×仕事の現場を見に行くツアー告知
	FM 高知	10/16	第4回 こうちエコ川柳大賞募集
		12/7	環境活動見本市 in 室戸市 告知
		3/19	環境×仕事の現場を見に行くツアー告知
新聞	高知新聞	4/15	第3回 こうちエコ川柳大賞募集
		10/27	第4回 こうちエコ川柳大賞募集
		11/19	高知「環境絵日記」選考結果発表
		12/7	環境活動見本市 in 室戸市 告知

10 センターの運営

1) センターの開館日及び開館時間

月曜日 9:00～17:00 火～金曜日 9:00～18:00

土曜日 13:00～17:00

休館日 日曜日、国民の祝日・休日、第2水曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、
その他イベントの実施等に伴う臨時休館日（HP等で事前に告知）

2) 運営委員会の組織・運営

有識者等で構成する運営委員会を設置・開催し、センター事業への助言を得ました。

■平成30年度高知県環境活動支援センター業務外部運営委員 名簿

	団体名	役職	氏名
委員長	高知大学教育研究部 総合科学系	教授	飯國 芳明
委 員	高知県立のいち動物公園	園長	多々良 成紀
	高知市立浦戸小学校	校長	藤田 由紀子
	（ゆすはら）森づくり担い手育成塾	塾長	笹岡 高志
	高知県林業振興・環境部	副部長	森下 信夫
	特定非営利活動法人環境の杜こうち	理事	村越 真由加

■第1回運営委員会

平成30年6月21日 15:00～17:00 こうち男女共同参画センター3階研修室1

■第2回運営委員会

平成31年2月18日 13:30～15:40 こうち男女共同参画センター5階視聴覚室

3) 高知県との定期連絡会の開催

業務内容や運営方法等について、県所管課と協議する連絡会を行いました。

■第1回 4月20日(金)開催

■第2回 7月20日(金)開催

■第3回 10月16日(火)開催

■第4回 1月17日(木)開催

高知県環境活動支援センターえこらぼ
平成 30 年度の取り組み

発行日	平成 31 年 3 月
発行	高知県環境活動支援センターえこらぼ (平成 30 年度高知県環境活動支援センター事業)
所在地	〒780-0935 高知県高知市旭町三丁目 115 番地 こうち男女共同参画センター3 階
電話	088-802-7765
FAX	088-802-2205
E-mail	center@ecolabo-kochi.jp
ホームページ	http://ecolabo-kochi.jp/
利用時間	月曜日 9 : 00 ~ 17 : 00 火 ~ 金曜日 9 : 00 ~ 18 : 00 土曜日 13 : 00 ~ 17 : 00 ※日曜日、祝日、第 2 水曜日休み
管理運営団体	特定非営利活動法人 環境の杜こうち